

<コミュニティ（経済）>

次世代を支える地域経済循環手法の研究～中山間地域の 家計構造と地域経済構造の調査分析手法開発～（2010～2015年度）

◇概要

本研究では、中山間地域に若い世代が里帰り・移住し安心して子育てできる持続的な地域経済の仕組みづくりを目的として、解明されていない中山間地域の子育て世帯の支出構造や特に負担が大きいと述べられることの多い子育て費用の把握を進めました。

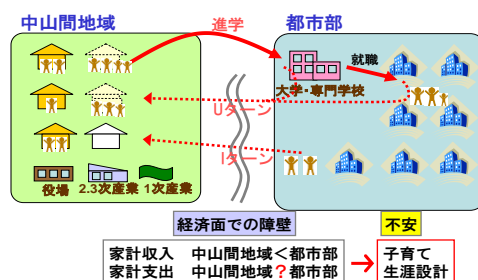
この結果、収入は都市部より低いのにに対し、支出額は大きく変わらないこと、特に車関係費が高く、住居費が低いこと、その他費用は大きく変わらないことが明らかになりました。また、研究の過程において地域版家計調査（特定の小さなエリアの世帯の家計支出の調査分析手法）や田舎くらし設計（将来の家計の状態予測ソフト）、地域経済循環調査手法の基本フレームの開発を進めました。

◇現状と課題

全国を100とした島根県の1人当りの所得は76.5となっています（2009年度個人所得指標）。他方、支出はほとんど未把握であり、「地域に暮らすにはどの程度の収入が必要か」についても具体的な解を出せない状況にあります。

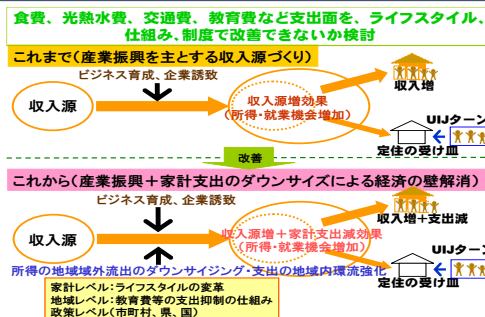
高度経済成長期のような経済活動展開や財政規模拡大が期待しがたい中、子育て世帯が安心して中山間地域に暮らすためには、家計支出の実態を踏まえた、より効果的な支援策や世帯支出の域内還流による新たな収入源の創出など、支出面も含めたより総合的な地域経済のマネジメントが必要となっています。

持続可能な地域形成には、若い世代が安心して子育てできる地域経済の仕組みづくり（経済障壁の解消）が不可欠



◇ねらい

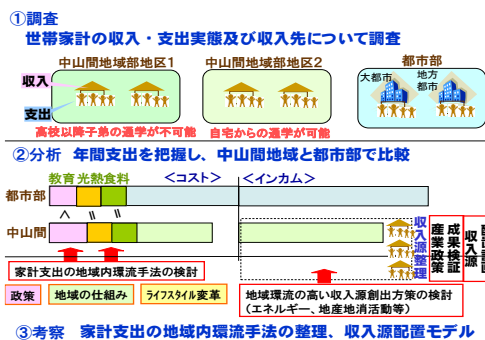
本研究では、特に、中山間地域に若い世代が里帰り・移住し安心して子育てできる地域経済の仕組みづくりに主眼をおき、中山間地域居住の子育て世帯の年間支出規模や高支出費目の把握、およびそれらデータを踏まえた若い世代の定住支援手法の開発や域内での所得創出力の高い地域経済構造の研究に取り組みました。



◇手法

次の事項を中心に研究開発を進めました。

- ① 特定の小さなエリアの世帯の家計支出の調査分析手法の開発（自治体等による単独調査を想定）
- ② ①の調査ツールを用いた中山間地域の子育て世帯の家計支出データの収集
- ③ ②のデータを用いた、中山間地域の家計の特徴と高支出費目の抽出、子育てに係る費用の分析
- ④ 地域経済循環性の高い家計支援策の事例研究



◇研究成果

- ①特定の小さなエリアの世帯の家計支出の調査分析手法『地域版家計調査』の開発
- ②中山間地域の子育て世帯の家計支出データの収集システムの構築と中山間地域の家計の特徴と高支出費目の抽出、子育てに係る費用の分析の実施
- ③地域版家計調査データを用いた将来の家計状態シミュレーションソフト『田舎くらし設計』の開発
- ④地域版家計調査データを用いた地域経済循環調査手法のフレーム構築とケーススタディ実施

<普及> ふるさと島根定住財団UIターンフェア（2016～2018年）田舎くらし家計相談対応他
<報告書>

2010～2014年 島根県中山間地域に居住する子育て世帯の家計支出構造の特徴と効果的な支援方策に関する研究（Ⅰ）、（Ⅱ）、（Ⅲ）、（Ⅳ）島根県中山間地域センター研究報告7、8、9、10

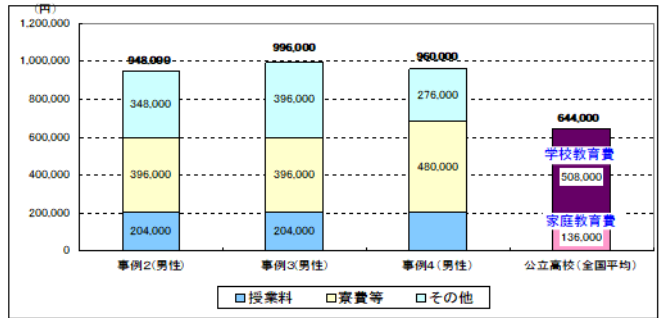
<出版物> 『循環型経済をつくる』、農山村文化協会、2018年4月

研究成果アルバム

島根県中山間地域子育て世帯の支出構造 ～子育てステージ別にみた収入、支出、貯蓄～



教育関連費について比較分析例(島根県内公立高等学校)



資料:2008年「教育費負担の実態調査(勤労者世帯)」(日本政策金融公庫)
注1:事例2、事例3、事例4はピアリング調査から算出
注2:公立高校(全国平均)は「教育費負担の実態調査(勤労者世帯)」による
注3:公立高校(全国平均)の区分は他の事例と異なる。うち学校教育費は事例1、4の授業料、その他、授業費の計に該当

地域版家計調査ソフトの開発(Microsoft Excel上で使用)

中山間地域居住世帯 家計支出ソフト Ver.2.0
高根県中山間地域研究センター

※ 月を選択してワリツクすると、支出の入力や編集ができます。主に1日毎の支出を入力できます。

※ 月を選択してワリツクすると、支出の入力や編集ができます。主に月毎の支出を入力できます。

※ 月を選択してワリツクすると、その月の支出状況を一覧でグラフで見るができます。月が指定されていない場合は、すべての月が表示されます。

※ 世帯確認表を入力編集できます。一番最初に入力してください。調査を開始した時点での新規を入力して下さい。

お問い合わせ先(総合窓口)
島根県中山間地域研究センター 企画調査部 地域研究グループ
担当: 有田 昭一郎
TEL: 0854-76-3833
MAIL: kabe@pref.shimane.lg.jp

地域版家計調査データの想定利用分野とデータを利用した支援ツール開発

<地域版家計調査データの利用分野と利用方法> <開発した支援ツール>

- 定住推進**
 - 移住世帯や子育て世帯の定住に対し、必要な生活費・教育費等の情報提供
 - 個別世帯に対し将来の家計支出をシミュレーション提供。
 - 自治体等の移住世帯家計モデルづくり支援
- 地域経済循環強化**
 - 自治体、地域運営組織等に対し、事業体調査と併せ、調査対象エリアの食料、燃料の調達額等を算出、提供
 - 自治体、地域運営組織等に対し、効果の高い域内調達強化分野、域内調達強化した場合の新たな所得創出効果をシミュレーションして提供
- 子育て支援・教育**
 - 子育て世帯の医療、福祉、教育等への支出状況の把握
 - 自治体や地域運営組織での検討・事業設計に必要なデータの提供

『田舎くらし設計』
地域版家計調査データを用い、特定世帯の将来20年間の家計収支をシミュレーション

『地域経済循環調査・分析・シミュレーションプログラム』
地域版家計調査データと事業体調査データを用いた、食料、燃料の域内調達状況分析、域内調達を進めた場合の新たな所得創出額シミュレーション

『田舎くらし設計』(将来の家計の状態のシミュレーションソフト)の開発

田舎くらし設計
世帯状況 > 生活費 > 住まい・車関連費 > 教育費 > 保健医療費・税金 > その他 >> 結果

ようこそ。
田舎くらし設計は、田舎暮らしを「考えている」、「はじめる」、「はじめている」方の、収入や貯蓄計画、支出予想のためのソフトです。「田舎暮らしにかかるお金は?」、「9年間に農業を始めたいが、どの程度貯蓄できるだろうか?」、「本道に専らしてけるだろうか?」とお思いの方、ぜひ一度使ってみて下さい。田舎での新しいライフスタイルづくり、家計設計のお役に立てると思います。

→ はじめる
→ 初めの方へ

→ 別名で保存して終了
→ 保存して終了

地域経済循環調査分析フレームムの開発

食料、燃料の生産・供給能力(今後の0町の地産地消推進意向)

項目	内訳
食料	(現状)米・粉・雑穀、生鮮野菜・キノコ、野菜加工品、総菜・おかず・弁当・テイクアウト(意向)パン、めん類、果物、お菓子
燃料	(現状)なし (意向)灯油に代わる木質系燃料

今後の0町の地産地消推進意向を踏まえた地産地消可能額

品名	地産地消可能額(パターンの2) 島島目標	単位:万円						
		1.宇津のみの産(65歳未満)の香(香)の香(香)	2.宇津のみの産(65歳以上)の香(香)の香(香)	3.宇津のみの産(65歳以上)の香(香)の香(香)	4.0町の産(65歳以上)の香(香)の香(香)	5.宇津のみの産(65歳以上)の香(香)の香(香)	6.宇津のみの産(65歳以上)の香(香)の香(香)	7.宇津のみの産(65歳以上)の香(香)の香(香)
米、粉、雑穀	1,534	142	65	120	31	222	75	300
パン	1,489	152	294	196	113	363	80	134
めん類	997	85	230	175	26	325	43	108
生鮮野菜・キノコ	2,476	200	622	374	117	693	106	314
野菜加工品	1,968	132	621	220	136	420	69	311
総菜	1,259	53	413	182	44	336	28	136
お菓子	3,475	291	872	428	262	793	132	402
総計(食料)	2,878	287	941	291	258	821	151	430
燃料	2,599	241	1,178	131	131	242	127	550
地産地消可能額(パターンの2)計	18,204							

◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 地域研究スタッフ
担当 主席研究員 有田 昭一郎
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207番地
TEL: 0854-76-3833 FAX: 0854-76-3758
E-mail: arita-syouichirou@pref.shimane.lg.jp

HP: <http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>